

広報 たかのす

平成元年

11月15日

№.660

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186(62)1111
FAX 0186(63)2586



「ゲップ・アップ!？」 トロロめし食い大会

米の消費拡大をねらいにした初企画「トロロめし食い大会」が11月3日、産業祭でにぎわう体育館で行われ、胃袋自慢20人が挑戦しました。10分間になん杯食べるかを競うもので、あきたこまち38*、長イモ20*を準備。始めは余裕の選手たちも3杯、4杯となると目を白黒。優勝は5杯とををたいらげた脇神・佐藤将人さんでした。

人口と世帯数 (住民基本台帳による)

10月31日現在	(前月比)
総人口 24,237人	(26人減)
男 11,779人	(16人減)
女 12,458人	(10人減)
(出生 12人 転入 40人)	
(死亡 24人 転出 54人)	
世帯数 7,309世帯	(増減なし)

財政 白書



で見る の台所

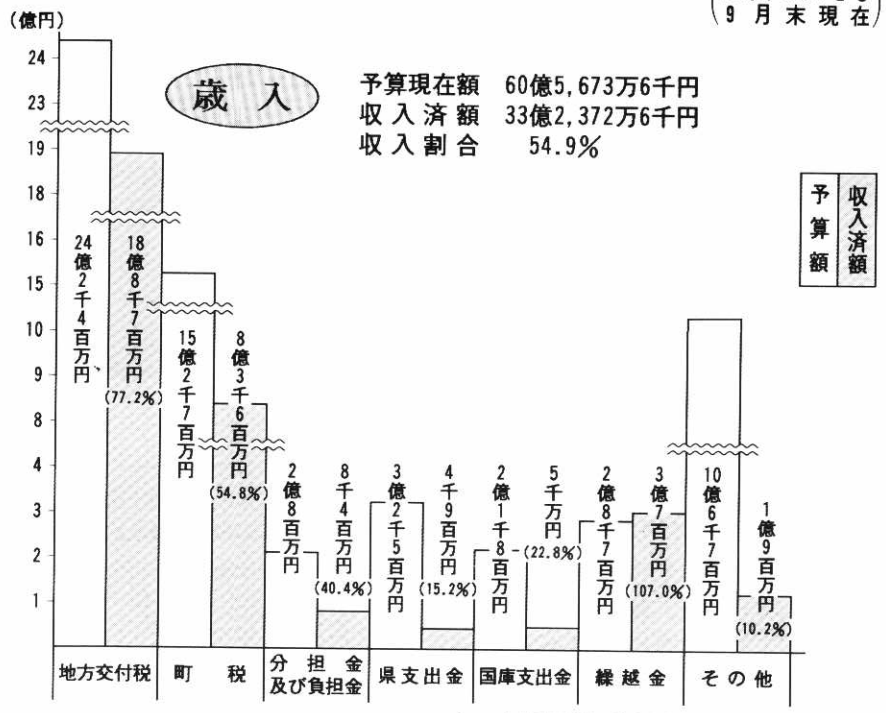
町の財政事情はどうなっているでしょう。十一月一日に発表された平成元年度上半期（元年四月一日～九月三十日）までの予算執行状況を中心に、町の台所の概要をお知らせします。

この白書は、みなさんの生活に密接なつながりをもつ町の家計簿ですので、予算や財政がどうなっているか考えてみましょう。

元年度一般会計

町税の負担状況（9月末現年度分調定額…間接税を除く）

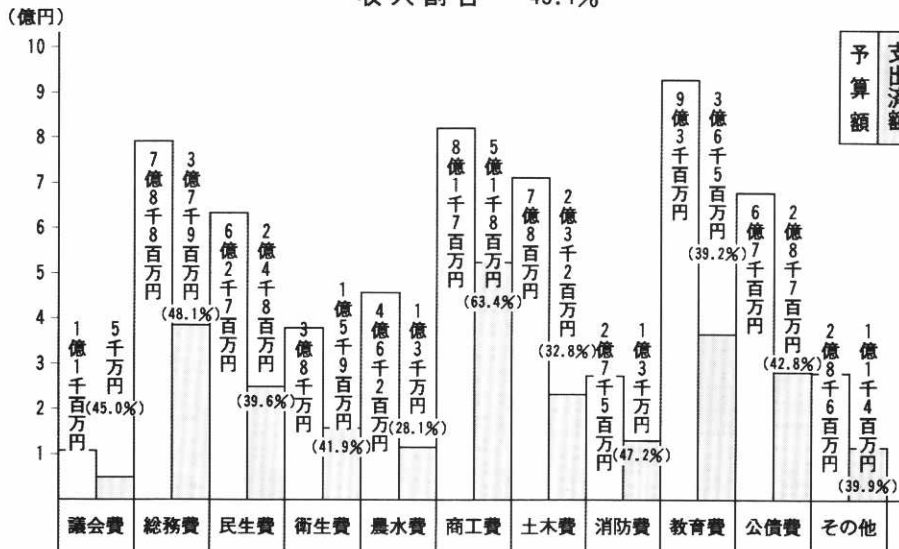
町民税	6億6千6百52万6千円	➔	一世帯当り	190,552円
純固定資産税	7億6百79万1千円		一人当り	57,402円
軽自動車税	1千9百43万円		(世帯、人口とも 9月末現在)	
合計	13億9千2百74万7千円			



()内は予算に対する収入割合%

歳出

予算現在額 60億5,673万6千円
 収入済額 26億1,300万8千円
 収入割合 43.1%



()内は予算に対する収入割合%



元年度特別会計

(単位：千円)

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	1,411,806	554,267	39.3	482,510	34.2
老人保健医療	1,453,340	584,839	40.2	578,653	39.8
簡易水道事業	388,816	94,341	24.3	189,106	48.6
と畜場事業	29,292	10,131	34.6	11,989	40.9
宅地開発	4,232	4,568	107.9	0	0
土地取得	4,705	430	9.1	0	0
財産区(綴子、栄、坊沢、七日市)	15,000	121,770	811.8	801	5.3
合計	3,307,191	1,370,346	41.4	1,263,059	38.2



町長日誌

出川 禮

10月16日~31日

■17日(火) 郵政事業・首長連絡会議が仙台市で開催され出席した。

■19日(木) 鷹巣阿仁食肉センター獣魂祭に出席。

■20日(金) グリーンメイトジャパン落成式。昭和四十一年に、この地域における誘致企業第一号として進出した楽屋被服K・Kは、市街地に近代的建築と設備を整えた新工場を建設し、社名も「グリーンメイト」に変更して竣工の運びとなった。

■21日(土) 第五回東北中学校駅伝競走大会。絶好のコンディションのもと、東北の精鋭二十一チームが三十一・二二に健脚を競った。

またこの日は県民スポーツ大会のソフトボール及びバレーボールの競技が、当町を会場として華やかに開催された。

■22日(日) 国際かんがい排水会議の現地視察の一行

六十人が、大太鼓の館を訪れ歓迎のあいさつを述べた。

■23日(月) 県町村会総務委員会行政連絡会があり出席した。

■24日(火) 県立能代工業高等学校バスケットボール国体優勝祝賀会に出席した。

■26日(木) 上小阿仁村の村制百周年記念式典に出席。

■29日(日) 鷹巣スキーレシングスポーツ少年団結成十周年記念式典に出席した。

純粋な民間組織で多くの小中学生のスキー選手を養成し、併せて志操の健全化に資したことは賞讃に値するものであり、その前途に、より一層の発展を祝してあいさつを述べた。

■30日(月) 町議会全員協議会。町の教育文化会館(仮称)の概略、設計等の説明である。この日、県町村会委員会有り出席した。

■31日(火) 第百十二回県種苗交換会開会式に出席。

秋の生存者叙勲

三沢修之助さん(田中)に勲六等単光旭日章 佐藤タケさん(南田中)は勲六等宝冠章



三沢修之助さん(82歳)

鷹巣、綴子尋常高等学校教員、綴子村役場書記、兵役等を経て昭和二十二年四月に綴子村議会議員に初当選。さらに町村合併後の鷹巣町議会議員になり、昭和五十四年まで通算三十六年にわたり地方自治及び地域の産業経済発展に



佐藤タケさん(67歳)

十六歳の時、看護婦を志して看護学校に学び、昭和十六年七月に秋田営林局二ツ井病院に採用され、家庭の事情によりいったん退職したものの二十三年九月に同病院に再採用となった。翌年から看護婦

尽力しました。

この間、町議会産業経済委員長、同建設水道委員長として数々の大事業の遂行に大きな足跡を残した。

また農業委員会委員、綴子土地改良区役員としても長年にわたり、卓越した手腕を発揮し地域農業の近代化、経営基盤の合理化などを推進した実績は高く評価されている。このような功績に対し、県農業会議会長から農業振興功労、全国町村議会議長会長から地方自治功労の各表彰が贈られています。

長として定年退職するまでの三十三年あまりにわたり、営林局関係者や一般患者の看護に尽力してきた。この間、林野庁長官から勤続三十年表彰を受ける。

五十七年四月に定年退職した後、二ツ井町立富根診療所に約二年間看護婦として勤めた。一番印象にあるのは、終戦当時、空襲警報が鳴るたびに何十人も患者を防空壕に移動させた時の苦労だそうです。「好きて選んだ職業で勲章をいただけるなんて」と笑顔いっぱいでした。

晴やかに受賞

鷹巣町芸術文化奨励賞

町芸術文化奨励賞は、町の芸術文化活動の振興をはかるため、各分野において意欲ある創作活動を行い、かつ優秀な作品を発表してすぐれた業績をおさめた方に贈られるものです。

対象者は、町内に在住しているか町出身で、県美術展覧会で入選、さきがけ文

学賞の入賞者、短歌、俳句、川柳の全県大会入賞者その他にすぐれた業績をおさめた方となっています。

受章式は十一月三日に中央公民館ホールで行われ初の受賞者となった方は次のとおりです。



高橋栄(綴子上町) 詩
田村豊一(元町) 小説
三浦弥生(坊沢)

短歌 佐藤聖子(松葉町) 陶芸

五代儀幹雄(伊勢町) 俳句 成田知枝(住吉町)

絵画 成田辰雄(七日市) 同 九島レイ子(材木町)

同 佐藤豊明(旭町) 同 土佐忠幸(米の岱) 同

小林博(旭町) 同 武藤タヘ子(高

村岱) 同 三沢良子(材木町) 同

夢いっぱいにオープン

『みちのく子供風土記館』

「老人と子供が一緒につどえる家」として、広域交流センターの隣接地に八月下旬から工事を進めていた「みちのく子供風土記館」が十月二十八日に完成し、二日から始まった町文化祭で一般に公開しました。

同館は、当町出身で直木賞作家・渡辺喜恵子さんが、自分の幼少時代のなつかしいふるさとの野山や小川で遊んだ頃を題材とした小説「みちのく子供風土記」に起因しており、同書を読んだ多くの人から「ふるさとに帰りたくても実家がすでになく、さみしい思いをしている」との声が渡辺さんの心を動かし、「風土記館の建設に役立てほしい」と昭和六十二年十一月一日、町に一千万円を寄付していたものです。

いろいろやかまど
が暖かい

建物は大きから昭和初期の面影を強調するため、外壁は白カベを基調とし屋根は切妻。

中央部には当時の家をイメージした換気用の屋根が印象的です。

玄関を入ると左側にステンドグラス、右側には子供の顔を表情豊かに描いた陶壁が飾られており、いずれも東京で活躍している陶芸家・神成澤（みお）さんが作製したものです。また、シラスに粘土を混ぜた「タタキ土間」や、一尺もあるケヤキの大黒柱が往時をしのばせ、調理場にはなつかしい改良ガマが据え付けられ、煮炊きできるように工夫されています。

部屋で一番大きい「集いの間」は総板敷きで、真中にいろいろが置かれ、天井から下がった「かぎのはな」には手どりがまがかかり、たちのぼる湯気になつかしさを感じさせます。

二日からは、神成志保・漆さん親子による「母子展」も開かれ、訪れた人は書や陶芸品に興味深かそうに見入っていました。

また庭には芝生を植え込み小説ゆかりの「要（かなめ）の原っぱ」を計画しておりますが、すでにその一角に「渡辺喜恵子文学碑」が建立され、五日には渡辺さん本人をはじめ、関係者多数が出席して除幕式と、みちのく子供風土記館の落成を祝い、備え付けのかまどで炊き、集いの間のいりりで焼いたキリタンポに舌鼓みを打ちました。

建築面積は二四八・四三平方尺、建築費二千八百九十八万円で完成したもので、隣接地には図書館、民俗資料館などを複合した教育文化会館（仮称）構想も具体化しつつあり、今後「文化ゾーン」として脚光を浴びそうです。



感想を述べる渡辺さん

小春日和でにぎわった

十一月二日～五日



▲第26回小・中学校学芸発表会で西小学校は「今泉駒踊り」を披露。「郷土の遺産」がしっかりと受け継がれている



▲第3回内陸線沿線ふるさと祭りは3日に大太鼓の館で開催され、各町村の特産品や郷土芸能に黒山の人で大にぎわい



▲「深閑」としたなかにも華やかさが漂い、見事なお手前を披露した狭山流の茶席



◀第7回目を迎え、晩秋の内陸路を疾走する女子駅伝。森吉町をスタートとする5区間18.5kmに健脚を競った〈写真は2位でゴールする鷹南中〉



▲体育館のメイン会場には、町の産業が総決集



▲毎年手の込んだデコレーションを披露する森林組合では「森」を再現。チビッコに大人気

▼町の「新しい顔」となったみちのく子供風土記館



産業祭と文化祭

ワープロ入門講座の募集 (定員20人)

- 日 時 12月4日(月)～8日(金) 午後6時～午後9時
- 場 所 鷹巣町中央公民館 3階大教室
- 学習課題 ワードプロセッサの操作と各種機能の理解・情報化社会について
- 申し込み 11月30日迄中央公民館へ(62-1130)定員になり次第締切らせていただきます
- 受講料 無 料

やま 森林があなたを呼んでいる

黙っていても

木は育ちません



わが国の経済が高度成長から低成長へと移行するなかで、木材需要の伸び悩み、外材の進出に伴う国産材の不振、木材価格の低迷さらには農山村人口の減少などで、林業をとりまく状況は多難な時代に直面しております。

しかし、多様化する森林に対する要請にこたえて、森林がもつ機能を高度に発揮し、しかも木材生産との調和のなかで充実した森林資源の造成と林業経営の安定的発展を図ることが急がれています。

県内の民有林は、昭和三十年代に県が推し進めた造林事業による林地が、除伐や間伐の時期になっており、このまま放置しておくとも良質材の生産に大きな支障をきたすこととなります。

このようなことから町では枝打ちや間伐の技術指導、研修会また造林関係の補助制度を積極的にとり入れ、みなさんの林業経営のバックアップ

を図っておりますのでご利用ください。

今回は、育林そして運材に不可欠な間伐と作業道の補助事業についてお知らせします。なお、いずれも事業主体は町森林組合とします。

間伐と作業道開設

に耳よりの話

間伐は生産しようとする材に応じ、健全な立木密度が保たれるよう立木本数を調整することを目的としており、林業経営面から見ると伐期までに二〜三回の間伐を実行することが一般的です。

間伐の種類には「下層間伐」「上層間伐」「全層間伐」と分かれます。下層間伐は生産材として価値ある木を主に優勢木に求め、大きな欠点のある木を対象に間伐する方法です。上層間伐は、大きくなり利用径級に達した木を収穫する方法です。

「町間伐促進対策事業」

▼主旨 民有人工林の質的向上を図るため、間伐の促進を目的として間伐事業費の一部を補助する。

▽対象森林は杉で、原則として四令級〜六令級（一令級は

一年生から五年生）

▽対象面積は個人の場合二畝以内。部落共有の場合は十畝とし、間伐率は二〇割以上もしくはは一畝当り四百本以上。

▽補助金 国又は県の補助を受ける間伐事業に対し、一畝当り二万五千円、それ以外の間伐事業に対しては一畝当り七万円を限度として補助をする。

▽期間 昭和六十四年一月より平成五年十二月まで。

「町民有林作業道開設事業」

いくら立派にぶ育しようとしても、現場まで行く取付道が整備されていないと十分な管理のみならず搬出道としても利用できません。

▽主旨 林道等と一体となり、適正な林業経営を確保するために必要な作業道の開設について国・県の補助対象となら小規模の作業道の開設に対して補助する。

▽事業費は一畝当り五千円以内で延長は五十メートル以上、幅員三〜四メートル。

▽共有林を除き、全利用面積の九〇割以上を個人で所有していないこと。

▽補助金 事業費の半以内。

▽事業期間 昭和五十九年度より施行中です。

おしらせ

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

- ▽日程 11月20日
- ▽受付時間 午後零時三十分から一時(終了時間三時)
- ▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防
- ▽持参品 印鑑、歯ブラシ
- ▽場所 中央公民館保健相談室

労できるように、出稼に関する相談員を委嘱しております。出稼前の手続、出稼手帳、互助会加入、健康診断などについて相談を受けます。委員は次の方々です。

- ▽石川太永治(糠沢・六六一四四七二)
- ▽佐々木長蔵(街道下・六六一〇七八九)
- ▽中島光雄(脇神・六六一二二二二)
- ▽佐藤清一(七日市・六六一二二二七)

県の最低賃金は 三千五百六十五円

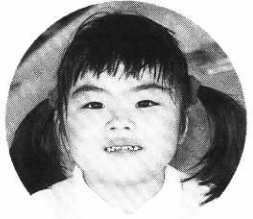
県内で働くすべての労働者に適用する、秋田県最低賃金が次のとおり改正されました。最低賃金額は、一日 3千五百六十五円、一時間 4百四十六円です。この最低賃金額より低い賃金で、労働者を使用すること

はできません(十月二十六日以降)もし違反した場合は、低賃金法により罰せられます。不明の点は秋田労働基準局賃金課(六〇一八八―六二一六六八)へ

雇用保険制度に 正しいご理解を

雇用保険の失業給付は、失業中の生活、新しい仕事を安心して探すことができるよう支給されるものです。ところがこの趣旨に反して、就職していながら、不正に失業給付を受けている悪質なケースが見受けられます。安定期では、不正受給を一掃するため、防止、摘発に取り組んでおります。受給者や事業主の皆さん、雇用保険制度の正しい運営にご協力をお願いします。

虫歯のない子



品類・宮腰麻希ちゃん



材木町・沢田直美ちゃん



小森・佐藤 友美ちゃん

出稼相談委員を ご利用ください

町では、出稼者が安全に就

夜間当番医(夜間診療) 日程表

(午後6時30分～9時)

11月	曜日	医療機関名	電話番号
15	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
16	木	近藤医院	62-1263
17	金	北秋中央病院	62-1455
18	土	奈良医院	62-1146
19	日	藤原医院	62-2882
20	月	佐藤外科消化器科医院	62-1420
21	火	佐々木産婦人科医院	63-0105
22	水	としま医院	62-1267
23	木	盛岡医院	62-1101
24	金	戸嶋産婦人科医院	62-1123
25	土	近藤医院	62-1263
26	日	北秋中央病院	62-1455
27	月	奈良医院	62-1146
28	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
29	水	藤原医院	62-2882
30	木	佐々木産婦人科医院	63-0105

(急患以外は受付けません)

清掃巡回指導日程表

自分の管理する土地、建物、畜舎、鶏舎、堆肥場、肥料溜、汚水溜、し尿浄化槽などの清掃を実施してください。

月日	曜日	鷹巣地区	その他地区
11.20	月	伊勢町・旭町・宮前町・東横町	栄地区全域
21	火	元町・松葉町	坊沢地区全域
22	水	大町・米代町・住吉町・花園町・材木町	七座地区全域・綴子地区(田中・新田中・南田中・向黒沢)
24	金	南鷹巣・西陣場・舟見町・新舟見町・西上綱・幸町・内幸町	綴子地区(22日以外の地区)
27	月		沢口地区全域
28	火		七日市地区全域

*問い合わせは、保健課衛生係(六二-111・内線136)

生涯学習と地域づくり

郡市民館研究大会—12月3日—



栄地区ふるさと講座(成人講座)

こうした歴史の流れに金縛り状態になった地域の活性化の糸口をどうみつけ出すか、社会教育、公民館活動の中心になる学習の課題であることは当然すぎると思われま

す。このような、大館北秋地区の共通した厳しい現実の打開をめざして、大館北秋公民館研究大会を鷹巣町中央公民館で開催することになりました。

郡市民館研究大会 鷹巣町公民館研究大会

▽期日—十二月三日(日)

▽会場—鷹巣町広域交流センター

▽分科会

第一、地域づくり分科会

地域づくりのための公民館活動のあり方(町内活動・成人学習)

第二、生きがいづくり分科会

生きがいを高める学習活動(生活の充実、社会参加)

第三、子育て分科会(青少年教育)

▽記念講演—「健全育成・地域活動」
「地域つぶし」講師・魁新報社総合企画室長

(能登谷 幸夫氏)

ふるさと人物伝

二階堂善三

一九〇四—一九八九

「鷹巣地方史研究」第二十五号は前会長二階堂善三追悼特集号として出された。

読んでいくとこの会の創始者である彼の歴史研究への情熱の強さがよくつたわってくる。そして、この冊誌が全国の現役の学者に評価されるわけがわかる。

彼は寄稿者によく手紙を書いた。依頼であったり、礼状であったり、中味にふれての所感を述べながらの心のこもった交流をした。

「先生の手紙にふれて私が四十年間こがれていた日本

人特有の知恵深き愛に接することができた」(台湾李岳勳)「先生の歴史研究への愛は慈父の愛だ」(愛知教育大、三宅教授)。

謹厳実直、豊かな教養、鷹巣のことは何でも知っていた生きた図書館のようであった。偉大なる人物を失って呆然としていると、多くの人々が共通した感想を述べている。

善三は明治三十七年合川町上杉に生まれる。大正十三年秋田師範卒業、鷹巣小に長く勤め、栄小、有浦小鷹巣中の校長、鷹巣公民館長、合川高校長など歴任、勲四等瑞宝章を受ける。

昭和三十四年鷹巣地方史研究会を開催以来、史談会講演会、現地見学など積極的な研究活動をし、機関誌を受けると会員は県外にも多く百八十人におよんでいる。また、「鷹巣郷土誌」発行、成田直衛翁の顕彰、「建国記念の日を祝う会」「文化遺産保存会」を発足、会長として活躍していたが四月一日八十五歳で没。

(文 長崎 久)

大館北秋の現状

県北の市町村での、町おこしとか、活性化に対する声は日増に高まってきています。

それぞれの町村では、手ざぐりで方向を模索しているという段階のように見受けられます。

特産品の開発にしても、郷土の歴史文化を観光の視点から見直した誘客作戦にしても今の所、決定打に至っていないのが正直なところでしょう。

地域づくりとか町おこしの声が出てきた背景はいろいろ考えられますが、生活基盤であった基幹産業である農業、

鉱業、林業の衰退が、県北地区にとって致命傷だったこと

は疑いのないところです。そのことが、若者の流出に拍車をかけ、高齢化を早めた原因でもあるわけです。

一方では、兼業の増加による職業構成の多様化が、そのまま生活形態の多様化に結びひいては人々に多様な価値観をもたらし結果になってきた

ものでしょう。当然の帰結として、地域は昔日の農村社会にみられた運命共同体的な強い連帯のきずなを弱めるとい

う図式になってきたものと考えられます。



小猿部簡水の完成を祝う

町の5番目の簡易水道として、七日市地区と沢口の一部に給水を開始した小猿部簡水の竣工式が11月2日に七日市基幹センターで盛大に行われました。15集落に給水するもので、水源は与助岱内の湧水。これまで慢性的な水不足に悩まされてきただけに喜びもひとしお。同簡水の完成で、町の水道普及率は92%と全国平均に達しました。

県内でも「セリの本場」として有名な田子ヶ沢でセリが収穫されています。栽培面積は約2.5%で転作の重要な作物ともなっています。最盛期はすぎえますが、寒さが身にしみるこれからがナベ物に最適。「セリを食べているので美人ぞろいで！」と笑顔いっぱいのお母さんたちは、なれた手つきで一本一本でいねいに洗っていました。

地域の特産を支える



10周年目を迎えたレーシングスポ少

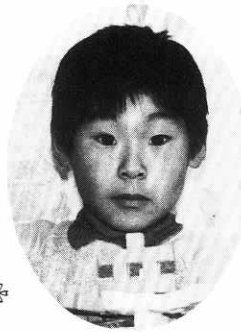
鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団の結成10周年式典が10月29日に中央公民館で行われました。昭和55年6月に指導員4人、団員35人でスタートした団も現在まで150人におよぶ卒団員を輩出し、1.2期生は成人を迎えています。オールシーズンを通して「健全な心は健全な身体に。」をモットーに、全県に誇れるスポーツ少年団となりました。

11月3日に町商工会3M委員会主催の「木と文化の語らいシンポジウム」が、広域交流センターで行われ、木材関係者や町民など約200人が参加しました。「木の付加価値をどう高めるか。」をテーマに討論。基調講演では武蔵野美大・最上寿之教授が「人間は木があったからこそ生きてこれたのだ。木なくして人類は語れない」と言及。

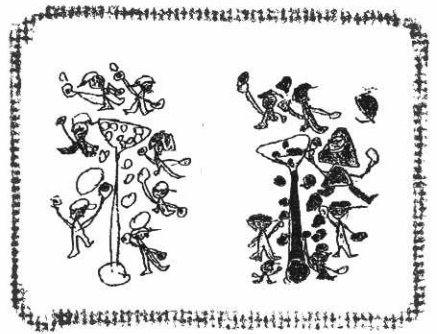
木の活用を考える



の広場



北幼稚園
はたけやまのひさちゃん(五歳)



なりました。
私はこの十日で七十九歳に
なりました。
現在まで病気らしい病気を
知らずに過ごしてこれたの
は、規則正しい生活と好き
嫌いをしないこと、それに自
分に合った仕事をするので
す。朝は四時に起きて新鮮な



中屋 敦
近藤 儀三郎さん(79歳)

今日のテーマ 『私の健康法』

対談 わたしたちの意見



蒲脛巾(がまはばき)

安全と防寒具として使用

蒲の葉で編んだはばきで、山仕事や炭焼きなどの時に、安全と防寒具として使用した。また冬には狩猟の時にもはいて、その服装には重みがあった。昔の働らく山の男の威厳とたくましさがあった。

〔松葉町・佐藤富雄さん〕

寝るようになっていまして、
空気を感じ、夜は八時頃には
寝るようになっていまして。
家には親牛が三頭おります
ので、草刈りや牛の世話をし
ているとまたたく間に昼にな
ります。昼あがりにはやるッ
コップ一杯はなんとも言えな
いうままで、晩はコップ二つ
と決めておりまして、これが
健康の秘訣かもしれませぬ。
この齢にはめずらしいよう
ですがカレーライスが大好き
です。孫達と一緒によく食べま
す。メガネなしで新聞は読め
ますが、「そろそろ買おうか」
と思っております。



わたしの自慢は 「みどりの日」の記念作文で授賞

竜森小六年・島山一成君

平成元年度から「みどりの日」が新しく制定され国民の休日が、又一つふえました。秋田営林局で「みどりの日」を記念した、作文を募集していることを先生から聞いて作文に応募してみようと思いました。

ぼくは、竜森小学校で前からやっている緑の学習などのことを、そのまま作文に書いてみました。四年生のときにも毎日新聞社の「わが校の自まん」という作文で、一席に入っ

たし、書く内容もにているのであんがいらくに書くことができました。それと、家で毎日日記をかいているので作文は、得意な方でした。でも、原稿用紙で五、六枚かきなさいといわれたときはちょっと心配でした。しかし、がんばって書いてみました。

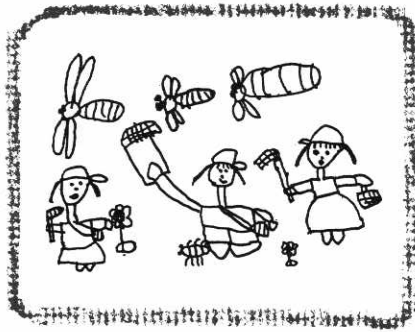
そして、一カ月ぐらいたってから先生が「入選だよ」と教えてくれたのでとてもうれしかったです。表彰式には、父さんと母さんと妹などといっしょに秋田営林局に行きました。十月二十二日の授賞式の日

に会場に行つてはじめて、特選だったことを知らされてさらにびっくりしました。営林局長さんから直接表彰されたときは、きんちようしましたがおうれしかったです。

みんな



北幼稚園
はたけやまきよこちゃん(五歳)



町民になりました
みなさんよろしく!



忠幸さんが東京で枚前修業をしている時に知り合い、誠実でやさしい人柄にひかれました。プロポーズは「寒いけど、田舎に来ないか」でした。東京生まれの東京育ちですので、鷹巣は片田舎かなァと思っていましたがどうしてどうして…。どうぞお立寄りください。

畠山昭子さん・新田中

(東京都太田区出身です)

歩く事



町泉 愛さん(72歳)
大高

明治生まれから見ると、世のなかがあまりに便利になりすぎ、「これでよいのか」と思う今日この頃です。

私は、今一人で暮らしてあります。

長男が、日立製作所勤務のため、日立市に家を持ちました。私はどうしても生れ故郷を離れる事が嫌で一人です。

一人暮らしですと、どうし

てもすべてが簡単になりがちですが、できるだけ毎日の食生活は規則正しくと、自分に言い聞かせて、栄養がかたよらないよう注意しております。また、どこへ出かけるにも、荷物のない限りは、歩く事に努めております。

私は、自分の年を考えた事はありません。女ですので嗜みには少し気を使い、自分に似合う物であれば、国際的感覚で少し位若くても平気で着ています。

今は大正琴に熱中し、毎日自分の好きなメロディーに満足し、レパートリーの多くなるのが夢です。こんな事も私の健康法かしらと思っております。

昭和50年に分譲を開始した前野団地である。以前は田や原野であったが、地価抑制と宅地の供給を目的に町で7,300平方メートルを買収し167区画を造成したものです。現在では隣接していた住宅も含め、175世帯が心をひとつにして新しい町内会づくりを進めている。



たかのすの昔

あしらせ



一線美術運営委員 九島寮二氏

十一月の健康相談

十一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十二日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「腎臓病を予防する日常生活」を行います。場所は中央公民館保健相談室です。

脳卒中友の会十周年記念大会は十五日です。

記念講演会「生きる力と心の糧、黒川一夫氏」は午後一時から中央公民館ホールです。

四カ月児健康診査、七カ月児健康相談と離乳食指導は二十八日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四カ月児健診―七月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七カ月児健康相談と離乳食指導―四月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

二歳児歯科健康診査は二十日です。

保険税五期の納期限は

十一月三十日です

対象は昭和六十二年八月、九月生まれのお子さんです。

受付時間は午前十時から十二時二十分、母子健康手帳、問診票、歯ブラシを忘れずにお持ちください。

場所は中央公民館ホールです。

三歳児健康診査は十六日です。対象は昭和六十一年十月生まれのお子さんです。

受付時間は午後零時四十分から一時十分まで、母子健康手帳問診票をお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

善意

▽楸グリーンメイトジャパン（取締役会長・小池甚太郎）から新社屋完成祝いとして二百万円

▽秋田県北生活協同組合鷹巣地区生協まつり実行委員会からバザーの収益金の一部として一万円

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽田中―三沢今伍郎さんから

亡妻サチエさんの香典返し

▽東上綱―成田一雄さんから

亡父昌二さんの香典返し

▽旭町―柴田三一郎さんから

亡母タケさんの香典返し

▽糠沢―出川一儀さんから亡父和一さんの香典返し

▽妹尾館―佐藤寅五郎さんから亡父久助さんの香典返し

▽東横町―大川仁吉郎さんから亡妻八重子さんの香典返し

▽松葉町―佐藤廣治さんから亡父為五郎さんの香典返し

慶弔だより

10月16日～10月31日

誕生おめでとうございます

—敬称略—

石郷岡 亮(修一) 長男(東横町)

桜庭 壮平(豊司) 二男(南鷹巣)

柏木 龍(昌克) 二男(南鷹巣)

寺田 朋央(茂信) 長男(伊勢町)

佐藤 知聡(貴仁) 二女(松葉町)

橋本 健太(牧雄) 三男(南鷹巣)

高宮 恵(光雄) 長女(下町)

二人の前途を祝福いたします

藤島 久(松葉町)

村上 ユカリ(秋田市)

高橋 敏治(田中)

高坂 由美子(米代町)

山城 均(深閑)

伊藤 操(新田中)

伊藤 明(太田)

佐藤 裕美子(七日市)

花田 修一(東横町)

赤石 牧子(森吉町)

清水 秀昭(東横町)

小坂 由佳(宮前町)

中田 知明(舟見町)

千葉 睦子(能代市)

松岡 隆毅(あけぼの)

佐藤 美保子(七日市)

おこやみ申しあげます

三澤 憲信(54歳) 田中

佐藤為五郎(90歳) 松葉町

佐藤 久助(89歳) 妹尾館

五代儀キヨ(81歳) 新舟見町

佐藤 セイ(61歳) 相善

中島 礼子(23歳) 掛泥

水野潤ミキ(82歳) 元町

佐藤 サト(93歳) 小田

永井 永治(73歳) 伊勢町

出川 アヤ(76歳) 掛泥

長岐 清吉(84歳) 七日市

小笠原栄蔵(74歳) 大畑

田中 重治(59歳) 西陣場